



羅針盤

発行:サイクルズ株式会社
編集:サイクルズ株式会社 大森オフィス
東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8F
電話: 03-6410-8797
URL : <https://www.cyclers.co.jp/>

Market Forecasts by Y. san -7月-

鉄スクラップ

指標となる東京製鉄宇都宮工場特級価格はここ2か月変動なし。40,500円/トンのまま。市中の流通は相変わらず低迷している為7月も横ばいと思われます。

銅スクラップ

6月はLME9,600ドル/トン台、国内銅建値1,420,000円/トンでスタート。米中間の関税交渉の先行き不安から相場は小刻みに動き6月30日時点LME10,000ドル/トン台。国内銅建値1,480,000円/トン。7月に関しては、米国の銅に25%の関税検討で先行き不明で横ばいは続くと思われます。

6月予測の自己評価 鉄スクラップ;○ 銅;x アルミ;x

アルミスクラップ

6月はLME2,400ドル/トン台スタート。最終的には2,500ドル/トン台。解体の発生が低下しにかか物がない状況が続いている。アルミ缶やビス付きサッシの価格は上がっていることから、7月に関しては全体を通して多少上がると考えられます。

産業廃棄物

4月以降この処分場も集荷に苦勞しており、中古売却やリメイクが進みゴミが出ない状況。今まで廃棄していた事務什器等も修理売却しているが、この流れは止まりません。今後はM&Aで大手産廃業者に集約されていくでしょう。営業は荷物を待つのではなく、攻める営業としつこい営業が必要となるでしょう。

Topics

計量の歴史(2) (明治維新前までの計量制度)

計量制度は貨幣制度と並び、経済活動の根幹を成す基本制度といわれています。今回は前号に続き東京都計量検定所の資料を参考に明治維新前までの日本の計量制度についての豆知識です。

【江戸時代前までの計量制度】

日本では、歴史的につながりが深い中国で生まれた尺貫法の計量単位や計量器を古来より使用していました。計量制度も中国の制度を真似して使っていたようですが、日本で記録に残っている最古の計量制度は、飛鳥時代の最後期にあたる701(大宝元)年に、唐の律令制度を手本として制定された「大宝律令」で定められた度量衡の制度です。大宝律令が制定されたことで、天皇を頂点とした貴族・官僚による中央集権支配体制が完成し、この時点で初めて古代国家制度が日本に成立したといわれています。この新しい国家制度を安定的に運営するためには、税の基準、貨幣の相対的価値、土地の大きさなどをはかるための統一した計量単位を定めることが必要となり、大宝律令で度量衡制度と呼ばれる計量制度が確立されたのです。

この度量衡制度では、文字通りに長さ(度)・体積(量)・重さ(衡)の3種類の単位のみを規制していました。

この度量衡制度はその後、時代の経過とともに多少の修正が加えられましたが、江戸時代までは政権が変わっても基本的にはこの制度に基づいて計量行政が執行されました。

この間の大きな修正として、豊臣秀吉が実施した「太閤検地」があり、当時各地でバラツキが出ていた計量関係の統一などが行われました。

江戸時代までの日本では、重さの計量は「天びん」と「棒はかり(桿秤)」の2種類の「はかり」だけが使われていました。当時は、正確に取引を行わなくてはならない少量で高価な宝石・貴金属類、香料、薬、絹糸などの物の計量や軽量で嵩(かさ)がある品物や大きな魚など枡でははかりにくい品物の計量が「はかり」の主な用途でした。

【江戸時代の計量制度】

江戸時代になると、天びんは主に両替商や金座・銀座での貨幣製造の用途などの一部にだけ使用が制限されたため、一般の庶民が商売などで使えるはかりは、基本的には棒はかりだけでした。棒はかりは、幕府から認可された秤座だけが製造を許され、使用中のはかりに不正がないよう、定期的に秤改めという取締り(現在の定期検査制度に引き継がれる制度)で性能を確認していました。不正があった際には「引廻しの上、獄門」など極刑まであったので、極端な不正はなかったようです。天秤と組み合わせて使用する分銅は、精度が高いことが求められており、幕末の質量標準は千分の一程度の精度で保たれていたといわれています。

この分銅は下右図のようにその独特な形状から繭(まゆ)型分銅と呼ばれ、現在の銀行の前身である両替商で使用されていたことから、多くの両替商がこの形を店頭に掲げる看板として使用していました。そのため、現在でも銀行を表す地図記号としてこの形が使われています(現在は一部の尺度の地図のみで使用)。



Series

御朱印集めの話②～御朱印帳



東港金属・営業部管理課
阿部 沙耶香

こんにちは、東港金属(株)管理課の阿部です。さて連載2回目となりましたが、今回も御朱印のお話です。

伊勢神宮へのお参りを皮切りに、いろいろと御朱印を求めて神社へお参りに行くようになりまして一冊目の伊勢神宮で購入した御朱印帳はあっという間に終わりが見えてきました。じゃあ次の御朱印帳はどうしようかなということで、いままで集めた御朱印帳の中でもとくにお気に入りをご紹介したいと思います。御朱印帳は、ロフトやハンズなどの生活雑貨屋さんだったり、書店やネット通販でも種類が豊富です。私が探したときも色々見比べて探し歩きましたが、やはり神社の社務所でその神社独自のデザインの御朱印帳が欲しいと思って見つけたのが上州板倉総本宮 雷電神社の御朱印帳です。雷電神社はその名前の通り「雷」を名前にお持ちの神様と菅原道真公が祀られている起源



の古い神社なのです。冬になると境内に植えられた約500本の蠟梅が咲きます。この神社の御朱印帳はその蠟梅がデザインされた御朱印帳です。ちなみに雷電神社は総社が群馬で栃木や神奈川にも雷電神社があります。ただし、このデザインが他の地域の神社で求められるかまでは調べられなかったので、勢いで群馬までお参りに行きました。伊勢まで程ではありませんでしたが、なかなか日帰りでは遠い距離でしたね。行ったのは7月で件(くだん)の蠟梅が咲く季節ではありませんでしたが無事お参りし、御朱印帳と御朱印をいただくことができました。神社のHPやステッカーにも使用されている雷電さまの判子が印象的です。また蠟梅の咲くころにお参りたいと思っていますが実現していません。いずれ必ず。

もう1冊お気に入りの御朱印帳をご紹介します。こちらは東港金属はご近所なのでご存じの方も多いのではと思いますが、大田区羽田にある穴守稲荷神社の御朱印帳です。濃い橙色にトレードマークの狐のイラストが描かれているのですが、その狐がユニークで気に入っています。こちらは元の神社が現在の羽田空港の敷地の中にあつたことから、地元の方以外にもCAさんや航空関係者の方がお参りに来ることも多いと聞きます。この御朱印帳をいただきにお参りした時は色々悩んでいた時期でしたので、話を聞いたことと気分転換を兼ねてお参りしたのですが、振り返ってみると、結果として色々なことに踏ん切りがついたというか、すっきりしたというか、現状を変えたいなと思っていたのを穴守稲荷神社にお参りして背中を押してもらっていました。思い出していたら久しぶりにお参りしたくなったので近いうちに行つてこようと思います。ちなみに穴守稲荷神社の御朱印帳はこの橙色のもの他にJALやANAなどの航空会社とのコラボ御朱印帳もあるそうですので気になる方はぜひお参りしてみてください。

他にも東京都の清明神社にお参りしたときに頂いた御朱印帳などもあるのですが、今回はここまでとなります。では、また次回お会いできますと嬉しいです。

